

## 会議録

会議の名称	令和7年度第4回所沢市上下水道事業運営審議会																																
開催日時	令和8年1月28日(水) 午前9時30分から午前10時30分まで																																
開催場所	上下水道局庁舎3階 大会議室																																
出席者の氏名	越阪部 真、小澤 峰子、落合 未優、亀屋 隆志、近藤 孝夫、瀬能 幸則、田中 弘城(50音順)																																
欠席者の氏名	宮越 美香																																
議題	(1)令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況の答申(案)の取りまとめ及び答申について (2)その他																																
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度 第4回所沢市上下水道事業運営審議会次第</li> <li>・令和7年度 第4回所沢市上下水道事業運営審議会席次表</li> <li>・資料1 令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について(水道事業)</li> <li>・資料2 令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について(下水道事業)</li> <li>・資料3 令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について(答申書)(案)</li> <li>・資料4 上下水道料金改定に関する説明会ポスター</li> </ul>																																
担当部課名	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">上下水道事業管理者</td> <td style="width: 60%;">鈴木 哲也</td> </tr> <tr> <td>上下水道局長</td> <td>仲 正之</td> </tr> <tr> <td>上下水道局次長</td> <td>草彌 秀夫</td> </tr> <tr> <td>上下水道局下水道維持担当参事</td> <td>加藤 孝雄</td> </tr> <tr> <td>上下水道局総務課長</td> <td>中林 正太</td> </tr> <tr> <td>上下水道局経営課長</td> <td>中澤 宏和</td> </tr> <tr> <td>上下水道局窓口サービス課長</td> <td>村中 慎児</td> </tr> <tr> <td>上下水道局水道建設課長</td> <td>古澤 祐晴</td> </tr> <tr> <td>上下水道局給水管理課長</td> <td>坂野 浩明</td> </tr> <tr> <td>上下水道局下水道整備課長</td> <td>森田 敏幸</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> (事務局)</td> </tr> <tr> <td>上下水道局経営課主査</td> <td>石井 陽子</td> </tr> <tr> <td>上下水道局経営課主査</td> <td>向井 達哉</td> </tr> <tr> <td>上下水道局経営課主査</td> <td>越阪部 那佳子</td> </tr> <tr> <td>上下水道局経営課主任</td> <td>武市 梓</td> </tr> <tr> <td>上下水道局経営課主査</td> <td>君塚 由里</td> </tr> </table>	上下水道事業管理者	鈴木 哲也	上下水道局長	仲 正之	上下水道局次長	草彌 秀夫	上下水道局下水道維持担当参事	加藤 孝雄	上下水道局総務課長	中林 正太	上下水道局経営課長	中澤 宏和	上下水道局窓口サービス課長	村中 慎児	上下水道局水道建設課長	古澤 祐晴	上下水道局給水管理課長	坂野 浩明	上下水道局下水道整備課長	森田 敏幸	 (事務局)		上下水道局経営課主査	石井 陽子	上下水道局経営課主査	向井 達哉	上下水道局経営課主査	越阪部 那佳子	上下水道局経営課主任	武市 梓	上下水道局経営課主査	君塚 由里
上下水道事業管理者	鈴木 哲也																																
上下水道局長	仲 正之																																
上下水道局次長	草彌 秀夫																																
上下水道局下水道維持担当参事	加藤 孝雄																																
上下水道局総務課長	中林 正太																																
上下水道局経営課長	中澤 宏和																																
上下水道局窓口サービス課長	村中 慎児																																
上下水道局水道建設課長	古澤 祐晴																																
上下水道局給水管理課長	坂野 浩明																																
上下水道局下水道整備課長	森田 敏幸																																
 (事務局)																																	
上下水道局経営課主査	石井 陽子																																
上下水道局経営課主査	向井 達哉																																
上下水道局経営課主査	越阪部 那佳子																																
上下水道局経営課主任	武市 梓																																
上下水道局経営課主査	君塚 由里																																

	上下水道局経営課主事 上下水道局経営課主事	前田 光揮 清水 美希
--	--------------------------	----------------

  | 電話 04(2921)1087 |

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1. 開会（事務局により進行）</p> <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会あいさつ（亀屋会長）</li> <li>・会議資料の確認</li> <li>・出席状況の確認・会議の成立の報告</li> </ul> <p>3. 議事の前の手続き（亀屋会長により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴希望者の確認（希望者0名）</li> </ul> <p>4. 議事（亀屋会長により進行）</p>
会長	議事（1）について説明していただきたい。
経営課主査	<p>（1）令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について（水道事業）</p> <p>（2）令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について（下水道事業）</p> <p>※資料1・2に基づき、令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況の答申（案）の取りまとめ及び答申について説明。</p>
	(以下、質疑応答)
委員	浄水場整備事業について、浄水場の耐震化が進んでいるのは安心できるが、工事が先になる施設の安全性についてはどのように考えているのか。
給水管理課長	市内の配水池の総量は9万2,000tであるが、このうち未耐震の配水池の容量は4,500tである。この配水池がある西部浄水場には、耐震化が完了している1万5,000tの配水池もあり、配水区域に常時必要な水量を確保できている。未耐震のものについては、他の配水池と同様に災害時に水の流出を防ぐ緊急遮断弁があるため、未耐震ではあるが水量を確保するという目的で利用していきたいと考えている。今後については、計画に基づき更新工事を進めていく。
	(質疑応答はここまで)
経営課主査	<p>（3）答申案についての説明</p> <p>※資料3に基づき、令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況の答申（案）について説明。</p>

	(以下、質疑応答・意見)
委員	市民の方に事業への意識を高めてもらうための記載が答申案に盛り込まれているが、今後も施設や老朽化の現状を伝えていく必要があると思う。八潮市の道路陥没事故から今日でちょうど一年だが、事故を受けて設置された国の対策検討委員会でも、インフラの老朽化率についてより多くの方に自分事として捉えていただくために見える化すべきという方向性が示されている。所沢市でも同様の取り組みを進め、インフラを維持するために必要な事項などについても積極的に公開していただきたい。
委員	水道事業については、今後人口減少が見込まれ給水収益が増えない一方で、経費については人件費や資材の高騰により収支が厳しい。また、下水道事業については、水道事業以上に借入が多い状況である。こうした中で、答申案には費用の改善とあるが、具体的にどのような費用の削減を考えているのか。
経営課長	例えば、現在更新を進めている西部浄水場について、ダウンサイ징による更新を検討しており、実現できれば、維持管理を含めて費用の圧縮に繋がる。また、水道管について、経理処理上は耐用年数の38年で償却されるが、50～60年、あるいはそれ以上使用できる素材も開発されており、更新の際に導入することで更新需要を遅らせることができる。官民連携についても、事業の安全性確保を前提としたうえで、民間のノウハウや人材を活用することで費用が削減でき、収益がプラスに見込まれるのであれば、積極的に進めるべきと考えている。
会長	昨今注目されているAIをはじめ、新しい技術を活用し、可能な限り効率的に業務を進めることに芽が出始めている。どのようなものが使え、また、使えないのかを調査し、使えるものについては積極的に取り入れていきたい。
	(質疑応答・意見はここまで)
会長	答申案の修正はしないでよろしいか。
	(一同異議なし)
会長	それでは、お手元の「答申書（案）」の（案）の削除を願う。これより事務局のほうで答申書の作成を行うため、暫時休憩とする。
	(答申書作成のため約10分間休憩)

	(答申書の完成)
会長	<p><b>【会議の再開】</b></p> <p>答申書が完成したので、本審議会として市長に代わり上下水道事業管理者へこれを提出する。</p> <p>※「令和6年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について（答申）」の読み上げ及び手交（別紙1 答申書 参照）</p>
会長	<p>以上で答申書の提出は終了する。また、答申書の写しを各委員へ配付する。</p> <p>（事務局より答申書の写しを各委員へ配付）</p> <p>続いて、議事（2）「その他」について、本日の議題以外にも、何か気づいた点等はないか。</p> <p>（以下、質疑応答）</p>
委員	上下水道料金改定に関する説明会について、これからも色々な場所で開催するのか。
経営課長	現時点では、所沢まちづくりセンターでの開催のみであるが、その内容をホームページ等で公開し、当日来場できなかった方がオンデマンドで視聴できる方法も考えている。
	（質疑応答はここまで）
会長	予定した議事は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。
	5. 閉会（事務局により進行）
副会長	閉会挨拶